

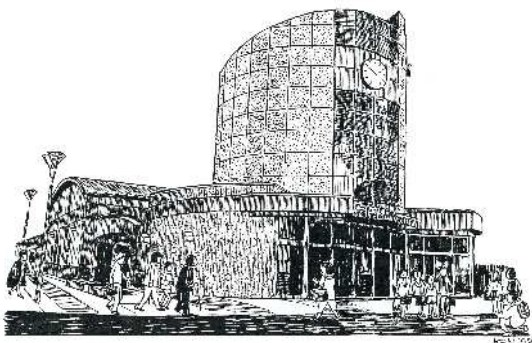
18.その他

室蘭駅

昭和62年度実施の、「室蘭市駅周辺市街地整備構想調査」の中で、室蘭駅移設と土地利用構想について検討がなされ、室蘭市駅周辺市街地整備構想調査研究会の意見を踏まえた上で、室蘭駅舎の移転と保存構想が出されました。

旧駅舎を保存することや、新駅舎のデザインについて、市民からアイデアを募集しました。応募されたアイデアを集約して、デザインテーマを「港・海」に、建物は明るく近代的な中にもにぎわいを感じられるものにと決定し、事業主体

であるJR北海道に市民の声として反映するように要請しました。「風をはらんだ帆」と「海に浮かぶクジラ・イルカ」をイメージした建物で、平成9年(1997)10月から新駅舎が開業となりました。



蕙山苑 (栗林本宅、常盤町)

明治42年、(株)栗林商会の創業者である栗林五朔(ごさく)が、当時室蘭に建設が始まった製鉄所の建設に関わって来蘭する政財界の賓客を手厚くもてなすため、巨額の私財を投じて建設しました。建設に当たっては、五朔の出身地新潟から宮大工を呼び寄せ、くぎを1本も使用していない典型的な日本の寺社建築の様式になっています。敷地2,800坪、建坪は200坪で、庭園は、測量山からの沢水が流れ、春のツツジのころの景観は見事です。(普段は一般公開していません)

また、明治39年(1906)の夏からアイヌ研究のために、度々来蘭した金田一京助が、宿泊したのもこの蕙山苑です。(室蘭の坂...55ページ参照)

碧の彫刻像 (入江臨海公園内)

婦人の社会奉仕団体、国際ソロプチミスト室蘭が創立10周年を記念して、昭和59年11月、公園内に建立。高さ86cmの台座に「碧」と名付けられた白色コンクリートの1.3mの裸婦の座像が設置されています。

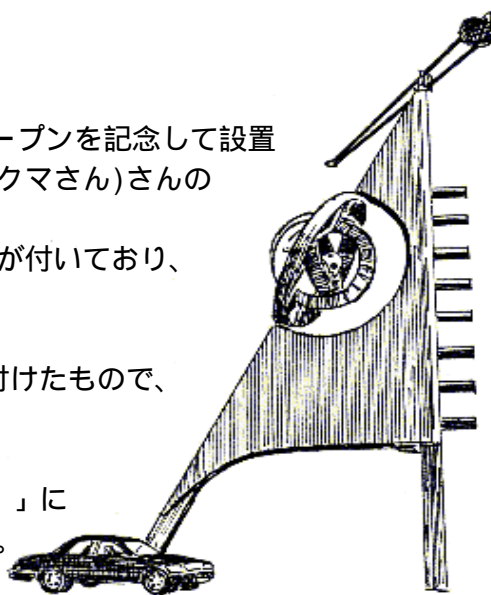
FURAI (NHK室蘭放送局敷地内、鉄の造形作品)

平成5年(1993)2月、NHK室蘭放送局がリニューアルオープンを記念して設置したもので、室蘭市出身の“鉄のゲージツ家”篠原勝之(クマさん)さんの設計により(株)檜崎製作所が制作しました。

高さ15m、重量15t、最頂部には長さが10mのアンテナが付いており、五重のジャイロ(羅針盤)が風を受け回転し、形を変える動きのある作品です。

この“FURAI(=風来)”は、制作者のクマさんが名付けたもので、デザインは室蘭の風をイメージして表現し、室蘭に元気を出して欲しいという願いを込めて造られました。

平成24年には、異業種交流団体「産学交流プラザ“創造”」に参画する地元企業の協力により、改修工事が行われました。



風力発電施設 (株)日本製鋼所内、祝津町)

風況に優れる室蘭地域の自然環境と地元環境関連企業の技術集積を活かし、環境にやさしい再生可能エネルギーを導入することを目的として設置されました。

現在、市内には(株)日本製鋼所製の2基(1,500kW(平成18年7月稼働)および1,950kW(平成19年9月稼働))と、市所有の1基(1,000kW(平成21年12月稼働))があります。

瑞泉閣 (株)日本製鋼所室蘭製作所構内、茶津町

明治44年(1911)9月、皇太子殿下(大正天皇)の視察に備えて、(株)日本製鋼所室蘭製作所構内茶津山のふもとに新築した洋館(199㎡)と日本館(303㎡)の和洋折衷の迎賓館です。同館の命名を殿下にお願いしたところ、「瑞泉閣」の名を賜りました。皇族が来蘭の都度、ご宿泊所・ご休憩所として使用されています。

内外装に粋を凝らし、外国家具や調度品類が配された豪華な明治建築の遺産として有名で、平成19年(2007)10月から同20年4月にかけて、日本館の基礎や洋館の外壁などを改修工事しました。同年11月には、室蘭の鉄鋼生産関連遺産として、近代化産業遺産に認定されました。

瑞泉鍛刀所 (株)日本製鋼所室蘭製作所構内、茶津町

日本製鋼所が明治維新以後衰退しつつあった日本刀の鍛刀技術の保存と向上のため、大正7年(1918)茶津山に建設したものです。仕事始めに打ち初め式が行われ、刀匠が古くから確立された制作刀技術を連綿と受け継いでいます。第二次大戦終了後は、昭和29年(1954)まで閉鎖されましたが、再び美術刀として鍛刀が許可され、再開しました。明治28年(1895)から刀鍛練用の送風に使われている鞆(ふいご)は、民俗文化財に指定されています。鍛刀所に隣接して資料館があり、歴代刀匠の作品が展示されています。(文化財...34ページ参照)

知利別会館 (新日鐵住金(株)所有、知別町)

北海道唯一の銑鋼一環製鉄所として100年以上にわたり高品質な製品を供給してきた新日鐵住金(株)室蘭製鐵所が、昭和15年(1940)に社員の交流の場や会議、来賓の宿泊施設として建設したのが知利別倶楽部です。全面中央に尖塔のある白亜の建物で、和風とアールデコの内装です。現在は知利別会館と名前を改め、迎賓館として利用されています。

ボルタ工房 (輪西町)

ボルトやナットで作られた人形「ボルタ」は、室蘭輪西商店街の若手後継者が中心となって組織する市民団体「てつものまちぷろじえくと」(現：NPO法人テツプロ)が輪西町の空き店舗を活用してボルタ工房を開設し、制作・販売をしています。工房では、ボルタ100種類、女の子のナッティ7種類、ボルタとナッティのカップル10種類などの販売スペースのほか、ガラス越しに制作の様子を見学することも出来ます。また、ボルタの製作体験(小学4年生以上、要予約)とボルトやナットと両面テープで作る工場模型製作体験(小学1年生以上、要予約)を実施しています。(室蘭の知って得するミニ情報...95ページ)

問い合わせ先 NPO法人テツプロ ボルタ工房 電話・FAX 0143-47-8233
〒050-0085 室蘭市輪西町1-32-6

輪西八条アトリエ (輪西町)

平成28年(2016)9月に、NPO法人テツプロにより開設されたものづくり体験工房で、「てついく」拠点としても期待されています。季節を問わず、予約により鍛造や溶接など鉄のものづくり体験プログラムを提供しています。夏休み中に体験や、鉄のお祭り『アイアンフェスタ』を継承したイベントも開催しています。

問い合わせ先 輪西八条アトリエ 電話・FAX 0143-84-5510
〒050-0085 室蘭市輪西町2-3-6

体験予約 NPO法人テツプロホームページ <http://www.tetsupro.com>

FMびゅー (輪西町) 周波数 FM84.2メガヘルツ

ラジオを通じて、身近な情報や人々の声を活発に伝えることで地域を活性化したいとラジオ局の設立活動を続けてきた市民団体の活動が実を結び、平成20年(2008)8月に胆振地区に初めての、コミュニティーFM放送局が開局しました。生活に密着した情報番組の提供や視聴者が番組に参加できる地域密着のラジオ局で、生放送中の番組を見学することができます。

また、緊急時に対応した放送も行っています。

問い合わせ先 室蘭まちづくり放送(株) 電話 0143-84-1662
FAX 0143-84-1663

〒050-0085 室蘭市輪西町1-32-8